

対象	小学校高学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学6年 「わたしたちの 生活と政治」 ・税金の働き
教科書	東京書籍等
掲載日	2018.11.10. 朝刊 中東遠版

問1：原谷小学校で行われた租税教室で、鈴木勝也さんが出題された問題に答えましょう。

- ・救急車の搬送が有料の国はあるか

答え()

問2：この記事の中に出てくる税金には、どんなものがありますか。

()と()

問3：記事には「税金が生活と密着している」例として、どんな場面が紹介されていますか。

()で()を

購入する場面

発展1：記事に紹介された税金のほかに、どんな税金があるか調べてみましょう。

発展2：税金はどんなことに使われているか予想したり調べたりしてみましょう。

税金の仕組みなど
分かりやすく講義
掛川・原谷小で教室
税について理解を深める
租税教室が九日、掛川市原谷小学校で開かれた。六年生三十四人が、消費税を中心に税金の仕組みや大切さを学んだ。
教室は掛川税務署管内租税教育推進協議会が市内の小学校で開催している。

同校には同署の鈴木勝也さんら二人が訪れ、ビデオやパネルを駆使して児童に分かりやすく講義した。
鈴木さんは「救急車の搬送が有料の国はあるか」「小学生で所得税を払っている人はいるか」とクイズ形式で出題。児童は積極的に手を挙げ、有料の国があり、ドラマなどの子役は所得税を払っていると聞かされた。

れると、驚きの表情を見せていた。
パネルでは、コンビニで購入したお菓子の消費税の流れを教わり、生活と密着していることを学んだ。シヨラルミンケースに入れた一億円の模擬紙幣の重さ体感もした。
(伊藤一樹)
税務署員から税金について学ぶ児童＝掛川市原谷小で



【活用にあたって】

6年生の社会科は歴史の学習を終えると公民の学習に入ります。これまでも農業や水産業、工業などを通して社会とのつながりは学んできていますが、ここで本格的に社会と人々の生活が深く関わっていることを学びます。

消費税が10%に上がるという情報は子どもたちも耳にしていることでしょう。消費税という言葉を知ってはいても、税金がどんな形で自分たちの生活と関わっているのかは、この単元を学習して初めて知ることでしょう。

記事を活用することで、体験的な学習に近い学習にできるのではないのでしょうか。発展問題も含め、主体的に学べるといいと思います。

解答例

問1：ある

問2：所得税・消費税

問3：コンビニ・お菓子

発展1：自動車税・酒税・たばこ税・入湯税・相続税 等

発展2：警察・消防・ごみ収集・道路を作ったり修繕したりする・橋を造ったり修繕したりする
県や市、学校などに補助金を出す 等